

「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」策定方針について

1 趣旨・目的

- 区では平成28年（2016年）4月に、板橋区のスポーツを「世界共通の文化」と位置付け、「する」「観る」「支える」の三つの視点と八つの基本施策を掲げ「板橋区スポーツ推進ビジョン2025」を策定し、現在まで取り組んできた。東京2020大会期間前・期間中にイタリアバレーボールチームへ小豆沢体育館を練習会場として提供するほか、オリンピックによる各種スポーツ教室の開催による大会レガシーの創出や、スポーツ大使の登用・活用、高齢者スポーツの推進、様々な世代がスポーツを楽しむための事業等を実施し、一定の成果を上げてきた。
 - 現在、国では第3期「スポーツ基本計画」の中で、スポーツの価値を高めるための新たな「3つの視点」として、スポーツを「つくる / はぐくむ」、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」を掲げており、ソフト面・ハード面双方において総合的かつ計画的に施策に取り組んでいく必要がある。
 - 区では、板橋区基本構想及び基本計画が改定の時期を迎える。新たに策定される基本計画を踏まえつつ、整合を図りながら、今後のスポーツ振興に取り組むことが必要である。
- 以上から、現状の課題を整理し、国や東京都の動向、社会の変化等を踏まえつつ、令和8（2026）年度を始期とする新たな板橋区基本構想及び基本計画のめざすスポーツ振興の「あるべき姿」の具体化とその実現に向けた施策を示す「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」（以下、「ビジョン」という。）を策定する。

2 計画期間 計画策定後から令和17年度（2035年度）まで

3 今後の主なスケジュール

- | | | |
|------|------|----------------|
| 令和6年 | 8月 | 庁議（経営戦略会議）策定方針 |
| | 9月 | 区民環境委員会報告 策定方針 |
| 令和7年 | 2～3月 | 検討組織立ち上げ |
| | 8月 | 庁議（経営戦略会議）素案 |
| | 9月 | 区民環境委員会報告 素案 |
| | 11月 | パブリックコメント実施 |
| | 12月 | 庁議（経営戦略会議）最終案 |
| 令和8年 | 2月 | 区民環境委員会報告 最終案 |
| | 3月 | 策定・公表 |

※この間、検討委員会、作業部会を実施予定。

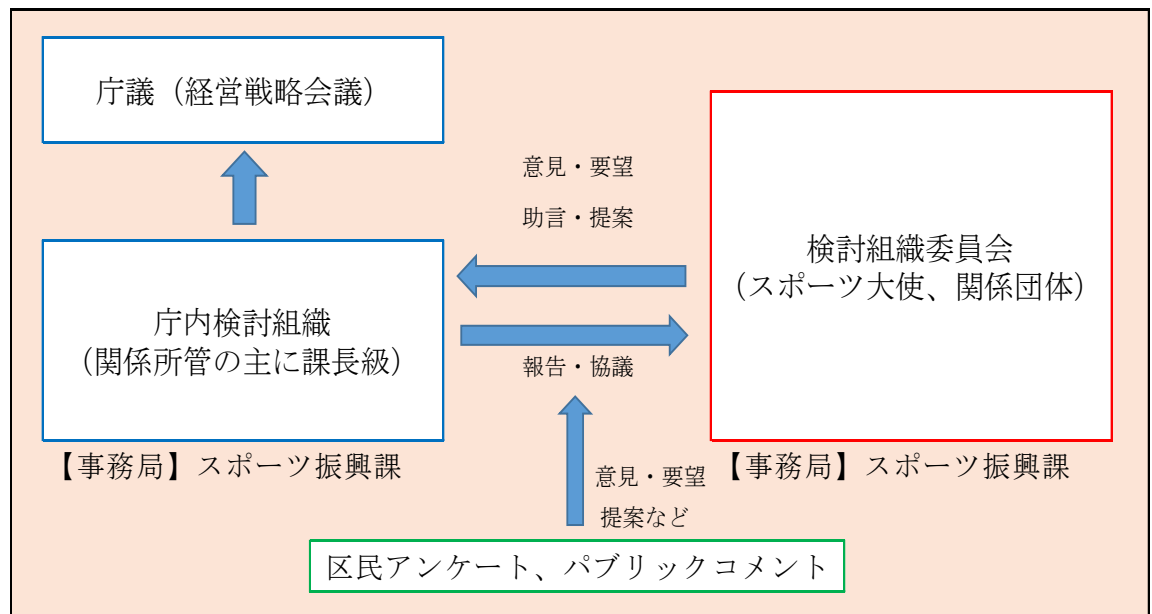
4 方向性

- (1)推進ビジョン 2025 に掲げた、「東京 2020 大会に向けた施策の実施と継続」「スポーツを通じた健康づくり」「ユニバーサルスポーツの推進」など 8 つの基本施策を振り返り、社会情勢や状況等に応じた見直しや改善を行う。
- (2)スポーツにおける区民ニーズを反映するため、アンケート調査の実施や、スポーツ大使、地域・関係団体等を交えた検討組織を立ち上げ、広く意見を収集し検討を行う。
- (3)「SDGs 戦略」「DX 戦略」「ブランド戦略」の 3 つを柱とする重点戦略の視点から、ユニバーサルスポーツの推進や ICT 化の検討など、多種多様なニーズに対応するための具体的な政策を展開する。
- (4)地域のスポーツ活動の拠点として、区内スポーツ施設を整備し、機能の充実を図るとともに、質の高い管理運営に取り組む。さらに、各地域の特色を反映した誰もが使いやすいスポーツの場を創造する。

【参考：現状の体育施設配置】



5 検討体制



6 ビジョン策定の視点

